

2004 年 9 月 14 日
プレスリリース

フォーステン ネットワークス
次世代 IP ネットワークの収益性を最大化する
新しい TeraScale アーキテクチャを発表
IPv6 にも対応

フォーステン ネットワークス 株式会社(日本法人:東京都千代田区、代表取締役:田中 ^{よしかず} 克和、以下、フォーステン)は本日、次世代のイーサネット・ネットワーク向けに収益性を最大化する TeraScale(テラスケール)アーキテクチャと、同アーキテクチャを実現するモジュール計 8 種を発表しました。TeraScale は、既存アーキテクチャのスイッチングとルーティング機能を拡充・強化し、イーサネット・ネットワークにさらなる拡張性と可用性を提供します。新しいアーキテクチャを実装したモジュールは、今秋順次出荷されます。モジュールの参考価格は 440 万円からです。

TeraScale アーキテクチャの特長

- ・ ネットワークの価格性能比を大幅に向上する世界初のテラビット級スイッチルータ。1 筐体あたりのポート密度を最大 2 倍向上したことで、1 ギガビット・イーサネット(GE)が 672 ポート、または 10GE が 56 ポートまで搭載可能となります。また、全てのポートにおいてワイヤレート(注)の性能を提供し、フル装備時には 1 秒あたり 10 億個のパケット処理が可能です。
- ・ ハードウェアベース処理により IPv6 のワイヤレート・フォワーディングに対応。日本およびアジアで構築が進んでいる次世代ネットワークに利用できます。
- ・ パケットのモニタリングを行う「sFlow」をハードウェアで処理。これにより、ネットワークの性能に影響を与えることなく、課金情報の収集、セキュリティの強化、ネットワーク運用の効率化を実現します。

TeraScale アーキテクチャは、ハードウェアベースのポート・ミラーリング、QoS、セキュリティ、リンク・アグリゲーション機能を向上することで信頼性と性能を強化しました。また、100 万のアクセス・コントロール・リスト(ACL)設定時にもワイヤレートを実現し、バックボーンの帯域を損なうことなく DoS 攻撃への防御が行えます。同アーキテクチャを収容する「Eシリーズ」は、1 秒間に最大 5 テラビットのバックプレーン帯域を提供でき、将来標準化が期待される 100 ギガビットのインタフェースにもワイヤレートで対応できるよう設計されています。

TeraScale アーキテクチャを実現する新モジュール

このたび発表されたモジュールは、「E300」向けと「E600」および「E1200」向けの各 4 種、合計 8 種です。TeraScale アーキテクチャの特長のほか、各筐体に組み合わせて使用するルーティング・プロセッサ・モジュールは 3 つの CPU を実装しています。これにより、L2 スイッチング、L3 ルーティング、マネージメントをそれぞれ個別に制御でき、信頼性と性能を向上します。また、独自設計の ASIC によりワイヤレートのルーティングが可能となるほか、既存の筐体にそのまま使用できます。モジュールの概要は以下をご覧ください。

「E300」向けモジュール

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| ・ 2 ポートの 10GE モジュール(XFP 対応) | 「LC-EF3-10GELW-2P」 |
| ・ 24 ポートの 1GE モジュール(SFP 対応) | 「LC-EF3-1GE-24P」 |
| ・ 48 ポートの 10/100/1000 Base-T モジュール | 「LC-EF3-GE-48T」 |
| ・ ルーティング・プロセッサ・モジュール | 「LC-EF3-RPM」 |

「E600/E1200」

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| ・ 4 ポートの 10GE モジュール(XFP 対応) | 「LC-EF-10GELW-4P」 |
| ・ 48 ポートの 1GE モジュール(SFP 対応) | 「LC-EF-1GE-48P」 |
| ・ 48 ポートの 10/100/1000 Base-T モジュール | 「LC-EF-GE-48T」 |
| ・ ルーティング・プロセッサ・モジュール | 「LC-EF-RPM」 |

TeraScale アーキテクチャは、通信事業者の次世代ネットワーク、データセンタ、グリッド・コンピューティングなどの研究・教育分野、そして企業のバックボーン・ネットワークで利用できます。フォーステンはこのたび、米サンディエゴ・スーパーコンピュータ・センタが TeraScale アーキテクチャ対応スイッチルータを導入したことも合わせて発表しました。同社の既存の製品は、日本電気株式会社の BIGLOBE、株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイーの WAKWAK、ジャパンケーブルネット株式会社、さくらインターネット株式会社、独立行政法人産業技術総合研究所などですでに採用されています。

米国の調査会社である Dell'Oro Group によると、コンポーネント価格の低下とポート密度の向上により、今後 10GE 製品の価格が低下し、企業での採用が広がると予想しています。同社では、10GE 市場は 2008 年までに 24 億ドル規模に達するとしています。

米トリー・グループのレポートにより高い評価を取得

TeraScale アーキテクチャは、独立系の評価機関である米国トリー・グループが独自に行なった評価テストで、以下の性能を業界で初めて達成しました。

- ・ 既存製品と比べて 2 倍以上の 1 秒間に 10 億パケットを処理する業界最高のスループット。

- ・ 性能を損なうことなく 100 万の ACL に対応。
- ・ 業界最高のポート密度をワイヤレートで実現。
- ・ 業界初、1 モジュールで 48 ポートの 1GE にワイヤレートで対応。

同テストに関するトリー・グループのレポートはフォーステンのホームページよりご覧いただけます。<http://www.force10networks.co.jp/products/reports.htm>

(注) 各規格が定める帯域速度どおりにポートごとのフォワーディングを行う。

フォーステン ネットワークスについて

フォーステン ネットワークス 株式会社(日本法人:東京都千代田区、代表取締役:田中 克和、以下 フォーステン)は、フォーステン ネットワークス インク(本社:米国カリフォルニア州ミルピタス、CEO 兼 社長:マーク・ランドル)の 100%子会社です。フォーステンは、ギガビット・イーサネットおよび 10 ギガビット・イーサネットのパイオニアです。同社の「TeraScale E シリーズ スイッチルータ」は、故障の際にも止まらないクラス最高のレジリアンシ、優れた拡張性により、予測通りのアプリケーション性能を確保し、ネットワークの高い可用性と運用コストの削減を可能にします。今日、複数のギガビット・イーサネットならびに 10 ギガビット・イーサネット網でフォーステンの製品が採用されています。会社ならびに製品の詳細は、<http://www.force10networks.co.jp/> をご参照ください。

本件に関するお問合せ先

報道関係者からのお問合せ先

フォーステン ネットワークス 広報代理 ホフマン ジャパン 鷲野

Tel: 03-5159-2145 Fax: 03-5159-2166 Email: mwashino@hoffman.com

一般の方からのお問合せ先

フォーステン ネットワークス 株式会社 尾方

Tel: 03-5288-5202 Fax: 03-5288-5111 Email: iogata@force10networks.com